

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第3号

令和6年6月20日(木)

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ



<https://www.taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320111>

↑更新中

6月はふれあい(いじめ防止強化)月間

校長 福沢 俊之

6月は、東京都教育委員会が指定する「ふれあい(いじめ防止強化)月間」です。その目的の1つは、いじめの未然防止・早期発見・早期対応等につながる具体的な取組の実施にあります。このことに関わって10日(月)の朝礼で、新聞の全国紙に掲載された投書を紹介しました。

「半世紀後も消えない いじめの傷」というタイトルで、65歳の女性からの投書でした。この方は、20年ぶりに中学時代の友人らと会い、その友人らも男子の同級生からいじめを受けていたことを初めて知りました。当時は、いじめられていることを他人に話すこともできず、中学校を卒業した後も、いじめにあったその時の気持ちを忘れられず、「自分の性格のせい?」「心がせまいから?」と自分を責めていたそうです。しかしそれは他の人たちも同じであったことを知り、半世紀を経ていじめによる傷の深さを思い知ったとのことでした。投書の最後に「いじめは高齢者の仲間入りをする年代になっても消えない傷を残すと知ってほしい。」と締めくくっていました。

その投書の1か月後、「『半世紀後も消えない いじめの傷』を読んだ。」で始まる投書が同じ新聞に掲載されました。「いじめの傷 私の心にも残った」というタイトルで、82歳の女性からの投書です。中学3年生の時にいじめを受けていたとするこの方は、「50年ぶりの同窓会にも、全く行く気にはならなかった。」と書いています。いじめにあっても仕返しが怖くて誰にも話せず、「耐えがたく辛い日々が続いた」が、一人の親友に打ち明けることで「厳しい受験期を乗り越えられた。」そうです。その後、小学校の教員になり、児童に自身の経験を話しながら、決していじめをしてはいけないことを懸命に伝えてこられたとのことでした。

平成25年6月制定され、同年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」で、「いじめ」とは、その「対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」とされ、「いじめを行ってはならない。」と明記されています。この法律によって「今」行われたことが「いじめ」であるかどうかを判断するときの基準が明確になりましたが、なぜ「いじめをしてはならない。」「いじめを防がなければならない。」のか、という理由を考えると、先ほどの2つの投書に書かれた投稿者の気持ち、すなわち「いじめ」は「人生」という長い時間においても、その苦しみを忘れることができず、時には自分を責めて心に傷を残す、ということにも、私たちは思いを至らせなければならぬと感じました。

運動会を終えて

副校長 後藤 圭佑

6月15日(土)に第23回運動会が台東リバーサイドスポーツセンターで行われました。事前の天気予報では一時的に雨の予報も出ており心配されましたが、当日は晴れ間の多い中での開催となりました。競技に関しては、80M走、リレーともに学年が上がるごとにスピードも迫力も増して見応えがありました。学年種目では、一致団結して協力する様子から、各クラスのカラーが見てとれました。そして2・3年のソーラン節、気合の入った掛け声とともに一心不乱に踊る3年生を見ながら一緒に踊る2年生。また、それをスタンドから見守る1年生。それぞれが、先輩の姿を「自分はこのように立派に踊ることができるのか?」「先輩みたいに格好良くなりしたい!」など、様々な想いで見つめていました。このようにして、御徒町台東中学校の伝統は引き継がれていくのだと感じました。

さて、今年度の運動会を開催するにあたり、本校では昨年度の反省をふまえた生徒の安全面に関する対応を行いました。

第1に熱中症対策です。今年度は熱中症指数計を複数用意し、常に暑さ指数を確認しプログラムを進めました。また、生徒の安全を第一に考え、日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」で示された「運動に関する指針」をもとに、事前に暑さ指数による対応を次の通り設定しました。

- 暑さ指数(WBGT)が28【**厳重警戒**】を超えた場合、ソーラン節を最優先に実施し、以降は3学年の競技を中心としたプログラムに変更する。
- 暑さ指数(WBGT)が31【**運動は原則中止**】を超えた場合、競技を中断し、その後の状況が改善しないと判断した時点で運動会を中止する。

幸い当日の天候は、日差しはあるものの湿度はそれほど上がらず、暑さ指数も時折「警戒」レベルを示すこともありましたが、終始「注意」レベルの状態でした。また、昨年度と同様に競技間の時間を多めに取り、水分補給を呼び掛けながらゆとりをもって競技を進めた結果、今年度は暑さによる体調不良を訴えて救護室に来た生徒は2名(昨年度は14名)でした。

第2にソーラン節です。今年度から3年生は足袋、2年生は靴を履いての演技としました。これも昨年度の反省を踏まえたものです。生徒も足下を気にせず、また法被に合った出で立ちで思い切り踊ることができました。来年度も引き続き、反省を生かしながらより良い運動会を開催していきます。

そして今年度も、本校PTA本部の皆様には参観者の受付・誘導をはじめ運動会の運営に御支援をいただいております。また、昨年度から引き続き生徒の水分の補充用ミネラルウォーターや新たにソーラン節用の足袋も提供していただくなど、生徒の安全健康に対して多大なご協力をいただき感謝申し上げます。さらに、PTA会長の呼びかけにより多くの保護者の皆様に片付け・撤収をお手伝いしていただき、御徒町台東中学校は地域・保護者に温かく見守られている学校だと改めて感じました。

生徒の頑張りだけでなく、多くの方々に支えていただき無事に運動会を終えることができました。心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。引き続き、本校の教育活動に御理解・御協力の程よろしくお願い申し上げます。

